

No.	指摘事項【旧：】は会議時の素案ページ)	修正内容（【】内は現在の素案該当ページ)
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 素案について、見づらい箇所がある。 ● 評価の一覧表、重点施策等をまとめた表を作成してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素案に施策、評価に対する一覧表を作成しました。【P3、P4】 ・ 施策体系目標ごと「一覧」で全体を、「個票」で施策ごとに確認できるよう構成し、見方を掲載しました。【P3、P4】 ・ 見やすくするため、個票の実施状況を箇条書きにしました。【個票全体】 ・ 見やすくするため、実施状況以下を色つき枠で囲う等の修正を行いました。【個票全体】
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 貯水槽水道指導率について、通知を送付できない方がいることで、対象者と通知発送数に差が生じ、その年の実績が100%にできない状態であることについて。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務指標目標の貯水槽水道指導率については日本水道協会の算出方法に従っているため、現状の数値を変更することは難しい状況です。フォローアップとしては、現状とおり通知可能な対象者について、確実に対応を行うこととし、目標変更等については次期水道ビジョンを策定する際に見直しを行いたいと考えています。【P15】
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務指標について説明するページを入れた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務指標についての説明を素案に記載しました。【P5】、 ・ 実績については、グラフ表記に変更し、指標に対する説明をつけて個票に掲載しました。【個票全体】
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 浄水施設耐震化率、配水池の耐震化率について、目標値と実績に乖離がある。この乖離についてどのように埋めていくか、令和10年までのプランがあるのか。【旧:P15】 ● 数値目標と現状がうまくあっていないのであれば、バックアップの施設数を目標にする等、見直しも考えてはどうか。【旧:P15】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォローアップ会議での内容を反映し、素案2.1(1)の記載内容を修正しました。【P19、20】

フォローアップに関する変更箇所等について

No.	指摘事項【旧：】は会議時の素案ページ)	修正内容（【】内は現在の素案該当ページ)
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状の国の取組の変化によって、この次の目標値というものが、従来の計画と変わってくるのかどうか。【旧:P15】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素案 2.1(2)に国交省移管とそれに伴う徳島市の対応について記載内容を追加しました。【P23】
6	<ul style="list-style-type: none"> ● B607「重要給水施設配水管路の耐震化率」の令和6年度の数値が下がっている理由はなにか。【旧:P17】 ● 前回フォローアップで、指標を見直して、B607ではなく、B606で評価するとしたにも関わらず、B607が残っているのはなぜか。【旧:P17】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B607 について、令和6年度は暫定値で算出しておりましたが、再算出を行った結果、令和6年度数値は 83.2%となり、前年度から数値の変動はない見込みです。 ・ 水道行政が国土交通省移管以降、上下水道を一体とした「重要施設」の耐震化が求められるようになり、従来の「重要給水施設」も、この重要施設の中に含まれており、継続して対応しています。 しかし、今後向上させるべき目標としては、前回フォローアップのとおり、基幹管路の耐震化率で対応することが適当であると再整理したため、B607の項目を削除し、B606で評価しています。【P22】 ・ 上記内容で素案2.1(2)の「実施状況」の内容を修正しました。【P22】
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 急所施設に重要施設配水管路が網羅されている図を載せたら分かりやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素案 2.1(2)に該当の図を掲載しました。【P23】

※ 上記以外に、誤字脱字、表現方法等の軽微な修正等を行っています。